

## 2015年度公式戦スケジュール・結果

### ■高円宮杯 2015 ホッケー日本リーグ

期間：2015年4・8・9・10月

会場：埼玉(飯能市阿須運動公園ホッケー場・駿河台大学ホッケー場) 島根(三成公園ホッケー場) 岐阜(岐阜県グリーンスタジアム)  
富山(小矢部市ホッケー場) 福井(越前町宮朝日総合運動場) 栃木(日光市ホッケー場) 大阪(立命館ホリーズスタジアム)

節	日	期間	会場	試合開始	対戦相手	試合結果
第1節	第1日	4月18日(土)	埼玉	16:00	ALDER飯能	○7-1
	第2日	4月19日(日)	埼玉	11:10	東京農業大学	○10-1
第2節	第3日	4月25日(土)	島根	12:00	診療印刷	△0-0
	第4日	4月26日(日)	島根	11:40	Selrio島根	○5-0
第5節	第8日	8月8日(土)	岐阜	13:50	駿河台大学	○7-0
	第9日	8月9日(日)	岐阜	13:20	岐阜朝日クラブ	○4-1
第6節	第10日	8月29日(土)	富山	15:30	法政大学	○9-0
	第11日	8月30日(日)	富山	11:10	小矢部RED OX	○5-2
第7節	第12日	9月5日(土)	岐阜	13:50	山梨学院OCTOBER EAGLES	○4-1
	第13日	9月6日(日)	岐阜	14:25	立命館大学ホリーズ	○5-1
第8節	第15日	9月13日(日)	福井	11:40	福井クラブ	○4-1
第9節	第17日	10月11日(日)	栃木	15:30	LIEBE栃木	○9-0
最終節	最終日	10月18日(日)	大阪	11:40	天理大学ベアーズ	●2-4

### ■第36回東海ブロック大会兼第70回国民体育大会東海地区予選

期間：2015年8月22日(土)、23日(日)

開催地：岐阜/岐阜県グリーンスタジアム

試合結果				対戦相手
8月22日(土)	準決勝	愛知(名古屋フラーテル)	○33-0	三重県
8月23日(日)	決勝	愛知(名古屋フラーテル)	○4-2	岐阜県

### ■男子第57回全日本社会人ホッケー選手権大会

期間：2015年9月19日(土)~9月23日(水・祝)

開催地：岩手/岩手町ホッケー場 岩手町総合グラウンド

試合結果				対戦相手
9月20日(日)	2回戦	名古屋フラーテル	○24-0	大原ホッケークラブ
9月22日(火・祝)	準々決勝	名古屋フラーテル	○3-0	診療印刷
9月22日(火・祝)	準決勝	名古屋フラーテル	○7-0	福井クラブ
9月23日(水・祝)	決勝	名古屋フラーテル	○2-0	箕島ホッケークラブ

### ■第70回国民体育大会ホッケー競技

期間：2015年10月1日(木)~10月5日(月)

開催地：和歌山/紀美野町スポーツ公園多目的人工芝グラウンド マツダスポーツグラウンド

試合結果				対戦相手
10月3日(土)	準々決勝	愛知(名古屋フラーテル)	○4-0	奈良県
10月4日(日)	準決勝	愛知(名古屋フラーテル)	○3-1	島根県
10月5日(月)	決勝	愛知(名古屋フラーテル)	△2-2	和歌山県

### ■第89回全日本ホッケー選手権大会

期間：2015年12月11日(金)~12月13日(日)、12月19日(土)~20日(日)

開催地：奈良/親里ホッケー場

期日	試合時間	対戦相手		試合結果
12月11日(金)	12:50	予選リーグ	天理大学	
12月12日(土)	12:50	予選リーグ	ALDER飯能	
12月13日(日)	12:50	予選リーグ	明治大学	
12月19日(土)	11:00 13:00	準決勝	B組1位 VS A組2位 A組1位 VS B組2位	
12月20日(日)	11:00	決勝	準決勝勝者 VS 勝者	

\*大会情報、試合結果等には細心の注意を払っておりますが、念のため、主催者の発表と照らし合わせの上ご確認ください。

次号Vol.29は  
12月頃発行予定  
全日本選手権大会結果  
...etc  
etc

FRATER FAMILY ONLY for MEMBERS

http://www.frater.or.jp/



Vol.28



# FRATER FAMILY

2015年度GAMEプレビュー

広報・交流プロジェクト

2015年度公式戦スケジュール・結果

Vol.28  
2015.12

ONLY for MEMBERS



●発行元：特定非営利活動法人愛知スポーツ倶楽部 ●発行人：神戸 勝  
●事務局：〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目2-11 ナビタ名灯ビル  
●編集人：安井妙子 ●監修：錦織 拓 ●愛知スポーツ倶楽部HP：<http://www.aichisportsclub.com/>  
●メール：[info@aichisportsclub.com](mailto:info@aichisportsclub.com) ●名古屋フラーテルHP：<http://www.frater.or.jp/>

©AICHI SPORTS CLUB ©NAGOYA FRATER HOCKEY TEAM  
この冊子に掲載されている全ての情報(文字、写真、イラスト等)及び全体は編集著作物として著作権の対象となります。許可無く引用・転載複製を行うことを禁じます。

社会人選手権 2回戦 2015年9月20日(日) VS 大原ホッケークラブ (岩手・岩手町ホッケー場)



名古屋フラーテル  
ホッケーチーム 24 {前半 12-0} 0 大原ホッケークラブ  
後半 12-0

岩手県での全日本社会人選手権初戦は、1回戦で北海道のウインズを破り、社会人選手権初勝利をおさめた大原ホッケークラブとの対戦。  
序盤から優位に試合を進め、5分#17橋がリバースシュートで先制する。その後は怒涛のゴールラッシュとなり、6分#18井島、8分#22大門、13分#5佐々木、14分#18井島、19分#4小野、22分#11川上啓、28分#22大門、29分#22大門、33分#17橋、35分#18井島、35分#9藤本と得点を重ね、前半を12-0で折り返す。  
後半も相手を一切寄せ付けない。42分#5佐々木、42分#17橋、47分#5佐々木、51分#3粥川、52分#2川上良平、53分#17橋、55分#11川上啓、57分#18井島、60分には#25若林がゴール前に流れたボールに飛び込み、入部後初ゴールを決める。その後も63分#9藤本、69分#17橋、69分#11川上啓と得点を重ね、24-0の大量得点で初戦を突破した。



社会人選手権 準々決勝 2015年9月22日(火・祝) VS 診療印刷 (岩手・岩手町ホッケー場)



名古屋フラーテル  
ホッケーチーム 3 {前半 1-0} 0 診療印刷  
後半 2-0

準々決勝は日本リーグに加盟し、年々順調に強化が進んでいる診療印刷との対戦。  
フラーテルペースで試合が進むが、開始から10分を過ぎると徐々に診療の攻撃回数も増える。初戦の圧倒的な試合展開とは違って、診療の堅守に苦戦し、なかなか得点に繋げることができない。この均衡を破ったのは27分、速攻から最後は#11川上啓が先制点を決めて、このまま前半を1-0で終える。  
後半も果敢に攻撃を仕掛ける。43分#12吉原の好判断により取得したPCを#16畠山が決めて、重要な2点目を奪う。一方、診療の攻撃は身体を張った守備によりチャンスを与えない。63分には右サイドから#12吉原が決めて、3-0で試合は終了、午後に行われる準決勝へ駒を進めた。



社会人選手権 準決勝 2015年9月22日(火・祝) VS 福井クラブ (岩手・岩手町総合グラウンド)



名古屋フラーテル  
ホッケーチーム 7 {前半 3-0} 0 福井クラブ  
後半 4-0

準決勝は、準々決勝で地元岩手クラブを接戦の末破った福井クラブとの対戦。今大会唯一芝が長いゴムチップ入りグラウンドでの試合であり、両者共に本日2戦目となる。  
開始から敵陣へ積極的に攻めこみ、9分PCから#3粥川が先制する。14分には右からゴール正面でパスを受けた#12吉原が決めて2-0。深い芝に順応し始めたフラーテルの攻撃はスピードを増す。30分PCから#10山部がタッチシュートを決めて、3-0で前半終了。  
43分には#2川上良平、48分には#17橋が豪快なヒットシュートを決めて、5-0と一挙に相手を突き離す。更に56分、65分と#2川上良平が連続得点し、ハットトリックの活躍を見せる。圧倒的な攻撃力と完璧な守備で7-0の完封で、決勝進出を決めた。



社会人選手権 決勝 2015年9月23日(水・祝) VS 箕島ホッケークラブ (岩手・岩手町ホッケー場)



名古屋フラーテル  
ホッケーチーム 2 {前半 1-0} 0 箕島ホッケークラブ  
後半 1-0

決勝は、4年連続の顔合わせとなる箕島ホッケークラブとの対戦。  
開始6分3回連続でPCを獲得するが、決めきれない。11分PCからゴール右に#5佐々木がフックを決める。その後は箕島の徹底的なマークに、追加点のチャンスを掴みきれず、前半を1-0で折り返す。  
後半、フラーテルのセンターパスが左サイドに展開されると、36分リバースヒットで打ち込まれたセンターリングがサークル内へ全力で駆け上がった#12吉原に見事に合い、タッチシュートで会場を沸かせる。2点リードとなるが、緊張感漂うゲームの雰囲気は変わらない。追加点を狙った再三のシュートは箕島GKの好セーブに阻まれるも、2-0で試合終了。12年連続28回目の優勝を果たし、2015シーズン初タイトルを獲得した。



広報・交流プロジェクト  
品川ホッケーフェスタ

2020東京五輪開催予定地にてホッケー普及活動

9月26日(土)、しながわ中央公園で開催されたホッケーイベント「しながわホッケーフェスタ」に、粥川選手、高瀬選手、小野選手、川上啓選手、長瀬選手、藤本選手の6選手が招待されました。  
東京都品川区は2020年東京五輪のホッケー競技

開催予定地となっており、品川区では区民の方々にホッケーを知り、競技に親しんでもらう機会として、今年6月より1回のホッケー教室をスタートさせました。  
そして、今回の「しながわホッケーフェスタ」では、ホッケー教室参加者の皆さんの集大成となる6人制大会の開催に加えて、体験コーナーが設置されました。6人制大会のエキシビジョンマッチでは、フラーテルの選手が華麗なボール運びを披露し、ホッケーの特徴であるスピーディーな展開の面白さを実際に見て感じてもらいました。体験コーナーでは、初めてスティックを手にする子どもたちにスティックの使い方を丁寧に教えました。  
開催セレモニーには区長も参加され、イベントは大いに盛り上がりしました。



和歌山国体 準々決勝 2015年10月3日(土) VS 奈良県 (和歌山・紀美野町スポーツ公園多目的人工芝グラウンド)



愛知県 4 {前半 3-0} 0 奈良県  
後半 1-0

初戦は、1回戦で岩手県を破った奈良県代表天理大学との対戦。会場は芝丈の長いグラウンドで、成年の部は大会を通してこの会場で開催される。  
12分#12吉原から受けたパスを#6川上啓が確実に決めて先制し、流れを引き寄せる。続く16分にはゴール前のこぼれ球に反応した#3橋が決めて、2-0。30分には#11畠山からゴール前の#9塩川へと繋ぎ、3点目を決めて、前半を3-0で終える。  
後半に入っても主導権を握り、前半以上に攻勢にかかるが、なかなかチャンスがモノにできず追加点が遠い。そして遂に、55分#3橋がゴール前に流し込んだボールが、走り込んできた#4井島にビタリと合い、待望の追加点となる。試合はこのまま4-0で終了し、準決勝進出を決めた。



和歌山国体 準決勝 2015年10月4日(日) VS 島根県 (和歌山・紀美野町スポーツ公園多目的人工芝グラウンド)



愛知県 3 {前半 1-1} 1 島根県  
後半 2-0

準決勝は、社会人クラブチームSelRio島根に大学生を加えた島根県選抜との対戦。  
前半8分、この試合最初のPCで、#7長澤からのパスを#13川上良平が触り、早々に先制点を獲得する。愛知ペースで試合は展開し、その後もPCのチャンスなどを奪うが、島根の粘り強い守備に押され、決定力に欠ける。27分島根に与えた連続4回のPCから最後はヒットシュートを決められ、試合は1-1の同点で前半を折り返す。  
後半開始直後の38分#10小野からのパスがゴール前にこぼれて、#3橋がヒットシュートを決めて2-1と勝ち越す。57分には1点目と同じ流れでPCから#7長澤のパスを#13川上良平がタッチシュートで決めて、3-1。その後は島根の走力も落ち、そのまま試合終了。明日の決勝戦へと進出し、二つ目のタイトルに王手をかけた。



和歌山国体 決勝 2015年10月5日(月) VS 和歌山県 (和歌山・紀美野町スポーツ公園多目的人工芝グラウンド)



愛知県 2 {前半 1-1} 2 和歌山県  
後半 1-1

決勝は、25年ぶりの決勝での顔合わせとなる地元和歌山県との対戦。  
開始から両者一歩も譲らない真つ勝負が展開される。24分、和歌山得意のカウンターで左サイドからドリブル突破を許し、先制される。しかし直後の25分パスで繋ぎ前線へ持ち込むと最後は好調の#13川上良平が決めて1-1とし、リードを許さない。試合は白熱し、29分には反則からPSを与えるが、これは枠外へ外れ、勝負は後半戦へ。  
運動量で上回る愛知は敵陣での展開が増えるが、和歌山は何度もカウンターを仕掛け、43分PCから追加点を与える。また直後の49分にはサークル内への打ち込みで#4井島が反応し、劇的な同点ゴールを決め、試合は2-2で終了した。単独は叶わなかったが、2年連続24回目の優勝を飾った。(国体規定により引き分けの場合、両者優勝)



HOCKEY JAPAN LEAGUE 第9節 2015年10月11日(日) VS LIEBE栃木 (栃木・日光市ホッケー場)



名古屋フラーテル  
ホッケーチーム 9 {1Q 1-0} 0 LIEBE栃木  
2Q 3-0  
3Q 2-0  
4Q 3-0

第12戦は、今シーズンより新規加入した地元LIEBE栃木との対戦。フラーテルOBの福田敏昭氏が監督としてチームを率いる。栃木での男子日本リーグ開催は初めて。  
開始から素早いプレッシャーで好機を伺う。13分#23柳本がファールを誘って得たPCから#14長澤がフックシュートを決め、先制する。第2Qでは、20分に#11川上啓、21分に#25若林、27分に#18井島と3得点を挙げ、4-0で後半戦へと繋げる。  
後半開始直後の32分#9藤本からのパスを#8塩川が決めて5-0とする。43分には#11川上啓がタッチシュートを決めて46-0。第4Qでは、48分に#9藤本、49分に#17橋と連続得点を決めると、最後は55分#17橋のセンターリングを#23柳本が決めて9-0で試合終了。本日の勝利により、最終戦を残して3タイトル目となる日本リーグ優勝が確定した。



HOCKEY JAPAN LEAGUE 最終節 2015年10月18日(日) VS 天理大学ベアーズ (大阪・立命館ホリース堂朝日総合運動場)



名古屋フラーテル  
ホッケーチーム 2 {1Q 1-2} 4 天理大学ベアーズ  
2Q 0-2  
3Q 0-1  
4Q 1-0

最終戦は、昨シーズンの日本リーグでも凌ぎを削った天理大学ベアーズとの対戦。  
開始1分、#17橋のリバースシュートで先制する。喜んだのも束の間、直後の3分に失点し、試合は振り出しへ。劣勢に回る展開となり、天理の勢いを止められない。11分にPCから得点されると、18分には左サイドからのリバースシュートを、更には21分にPCの押し込みを決められ、立て続けの失点から1-4となる。3点のビハインドで前半戦を終える。  
第3Qに入っても天理ペースで試合が進み、流れを断ち切ることが出来ず、攻撃よりも守備に割く時間が続く。第4Q、52分右サイドからのセンターリングを#12吉原が決めるが、2-4で試合終了。最終節を終えて11勝1敗1分けで優勝となったが、終始天理の勢いに押され、苦い黒星で2015シーズン日本リーグを終えることとなった。

